



令和 4 年 7 月 4 日  
令和 4 年度学校だより NO.17④  
加古川市立平荘小学校

## 航空写真を撮って（6年生の感想：forms より）

- 私は、平荘小学校をせおっているということを実感しました。
- 紙をもって、上に上げているとき肩がめっちゃくちゃ、痛くなりました。また、うまく取れているか心配になりました。
- 平荘小学校はもう 130 才になるんだなと思いました。平荘小学校はもうすぐ閉校するんだなと思って少し寂しいです。だけど良い航空写真が取れたと思います。
- 僕は航空写真に写れて良かったです。
- 記念すべき創立 130 周年を小学校生活最後の 6 年生で撮れてよかったと思いました。
- 航空写真で、画用紙を頭の上にするとき、ずっとしていると腕が疲れてしんどかったです。創立 130 周年のときに、6 年生で良かったです。まだ、写真を見てないから、うまく取れているかが心配です。うまく取れていればいいなと思います。
- 僕は、創立 130 周年記念行事で航空写真を撮りました。130 年はどれくらいなんだろうと思いました。
- みんなで写真をとりました。僕は、平荘小学校がなくなるのは、悲しいなと思いました。みんなで写真をとって、全校生はすごく多いなと思いました。
- 僕は、ちゃんと撮れているかちょっと気になりました。
- 130 年もこの学校はあるんだなと思いました。
- 僕達がちょうど 130 周年記念行事の 6 年生でいいなと思いました。130 周年の 6 年生として、恥のない学校生活をおくり、よりよい平荘小学校にしたいです。
- 私は、130 周年記念行事をやって、「こんなに平荘小学校は年をとっているんだな。そして、あともう少しでこの小学校もなくなってしまうんだな」と思いました。
- 私は、航空写真を撮るのが初めてだったけど、楽しかったです。130 周年という節目のときに 6 年生で良かったなと思いました。そして、晴れたときに撮れて嬉しかったです。
- 私は、130 周年の航空写真を撮った時、歴史があると思いました。また、平荘小学校がなくなるのがとても悲しいと思いました。
- 画用紙を地面と平行に持つのが難しかったです。でも、上から写真を撮ってもらって最後に手を振ったのが楽しかったし、帰りに回って帰っていったのが面白かったです。
- 130 周年の卒業生なんだなと改めて思いました。飛行機でくるとは思わなかったです。とても暑かったけど、終わったらやりきった感がありました。
- 私は、130 周年の記念行事として航空写真や集合写真を撮りました。平荘小学校は 130 周年で、すごく長い歴史のある学校なんだと思いました。そして、集合写真を撮るときに、上から写真を撮っている人が私たちの写真を全力で撮っていて、少し面白かったです。130 周年記念のお祝いで頑張って遠いところから来て撮ってただけで、嬉しいなと思いました。これからは両荘みらい学園になってしまうけれど、これからも忘れられない歴史ある平荘小学校になって欲しいと思いました。
- 創立 130 周年記念で思ったことは、1 番にすごいなと思いました。6 年生最後で良かったなと思いました。
- 私は、初めて航空写真を撮ったからとてもいい思い出になったと思いました。なかなかこんな機会はないので大切に心にしまっておきたいと思いました。とても楽しくて良かったと思いました。早く写真を見たいと思いました。
- 平荘小が 130 才になって嬉しかったです。つくられてから 130 年もたったなんてすごいと思いました。もっと長持ちしてほしいです。閉校するので少し残念です。これからも楽しもうと思いました。
- 自分が写った写真を早くみたいなと思いました。
- ぼくは、130 周年の時に 6 年生でよかったと思いました。大きい行事で経験できないことかもしれないからよかったと思いました。
- 航空写真を撮ったことがなくて、意外に手が痛かったです。後で飛行機を見たらとても飛行機が近くてびっくりしました。全校生で集合写真を撮る時に、急にアンパンマンとバイキンマンが出てきてびっくりして、みんなと一緒に笑いました。一生残るかもしれない航空写真や集合写真を撮れて嬉しいです。
- 航空写真で小さい飛行機が来ると知っていたけど、来たときはとてもびっくりしました。そして、どんな写真が撮れたのか気になりました。

## 山手ブロック特別支援教育合同学習会に参加しました

6月30日（木）に、いぶき学級とわかば学級の子どもたちが、少年自然の家で、山手ブロック特別支援教育合同学習会に参加しました。午前中は、クイズや表現等の出し物を各校園が発表して交流をしました。午後は、山手ブロックを2つに分けて、アジャタと工作体験を行いました。子どもたちは、大勢の人の前で発表したり、体を動かしたり、創作活動をしたりと、有意義な時間を過ごしました。



『アジャタ』は、『全日本玉入れ (All Japan Tamaire)』のことです。4～6人の選手が合計100個（アジャタボール99とアンカーボール1）のボールをバスケットに入れるまでの時間を競うタイムトライアルスポーツです。  
100個のボールを全部バスケットに入れるのは、チームワークが必要です。どのチームもよく頑張りました。



自然の中、工作館へ移動しています。



自然物を使って、アイデアいっぱいの力作ができました。

元気に活動できてよかったです。

